

韓国・湖西大学 12月 月例報告書

2025年秋出発

<授業>

12月8日～12日に期末考査がありました。受けていたすべての科目でテストがありました。韓国語の授業のテストはそこまで難しくありませんでしたが、専攻のテストは覚える内容が多かったため、十分に対策できず悔しい結果となりました。PPTの内容をしっかりと復習すれば答えられる問題がほとんどで、「日本での専攻内容と明らかに違うから」と諦めてしまいましたが、留学生だからと言って手を抜いていいわけではないので、来期はどの授業も手を抜かず、チーム活動もテストも全力で頑張りたいです。今期はすべての授業に、休まずにいけたので来期も継続していきたいです。授業数は少なかったですが、韓国語の向上だけでなく、課題への取り組み方や発表の仕方、新しい分野への学びがたくさんあってとても充実した学びの期間だったと思います。

<日常>

12月の初めに一度だけたくさん雪が降りました。私は雪を見たことがあまりなかったので、韓国で雪を見ることができてとても幸せでした。友達と雪合戦をしたり、雪でアヒルやハートを作ったり、知らない人と構内の坂を滑ったりとなかなかできない雪遊びを堪能しました。すごく寒かったです。人生で忘れられない日になりました。何気ない日常にふと訪れる出来事が、素敵な思い出になるのも留学の醍醐味なのかなと思わせてくれました。

最近、友達の紹介でスケボーサークルに入ることができました。私は初心者なので少し不安ですが、友達を増やせる良い機会になると思うので来期から楽しく活動していきたいです。



<その他>

帰国する時、来期も使いたいものがあったので韓国人の友達に頼んで預かってもらいました。退寮をする時は、鍵を返却し、寮の管理をしている学生に部屋の確認（不備はないか）をしてもらい退寮しました。最寄りの高速バスターミナルから仁川空港まで行って帰国しました。荷物が多くて大変でしたが、タクシーや飛行機に乗る時手伝ってくれた人がいたのでとても助かりました。帰る時は少し寂しい気持ちが出てきて、寮から見える景色や学校の猫たち、友達が恋しくなりました。



<最後に>

4ヶ月ほど韓国で過ごして、大変なことや不安なことも多かったです。しかし、優しい友達や留学担当の方々、家族のおかげで安全に充実した留学生活を送ることができました。また新しいことにチャレンジすることや自分の韓国語能力に対して、だいぶ自信がつきました。来期も楽しくよい留学生活を送れるように、日本にいる間も韓国語の勉強を欠かさず続けていきたいです。次はどんな友達と会えるか、自分がどれだけ成長できるかとても楽しみです。残り半期も健康に気をつけて楽しんでいきたいです。そしてどんなことにも感謝の気持ちや良い謙虚な姿勢を忘れずに過ごしていきたいです。

